

思いつくままに

港区 小田武史

1. 「平成維新を実現する会」って何をする会なんだろう？

“実現する”というのだから、何か運動していると思うのですが、活動の中身って何ですか？ 会員の1人として参加したくなるような興味あるイベント／活動があれば、すぐにでも馳せ参じるのになあ～（住専の時は盛り上がったのに）

2. “運営会議”で何を話し合っ、何を決めているのだろう？

生活者通信を読むと議事録が掲載されていますが、活動状況は良く伝わって来ないし、いろんな委員会も休眠状態のものが多いけど、どうなっているのかしら？ 参加自由のことですが、わくわくするようなことあるのでしょうか？

3. “生活者通信”ってはっきり云ってつままないと思うけど？

毎月編集・発行にあたられている方々の苦勞を推測すると、ただ読んでだけで何の手伝いもしてない自分に批評できる資格もなく無責任な！と吐られそうですが……毎月の到着が待ち遠しくないのも正直な気持ちです。

もっとわくわくさせる内容とか、参加したくなるようなイベント情報（企画）ってないのでしょいか？ 特殊法人とか天下りの調査を徹底的にして報告するとか、平成維新の会から誕生した14人の市区議の方々の活躍状況のリレー報告とか……。

4. 年会費 ¥3,000 でやっていけるの？

年会費 ¥3,000 は生活者通信の製作・郵送費って聞いていますが、それでは会の運営費とか活動費はどう捻出しているのですか？ 市民運動（ボランティア）といっても個人個人の無理が高じると“継続は力なり”に危険信号が灯ります。すなわち血（資金）がなければ人間（会）は死んでしまいうのではないのでしょうか？

組織を守り、活性化させる為に最低限の財源が必要なのは会の全員がわかっているのですから、5千円位（3千円／生活者通信＋2千円活動費他）の年会費であれば受入れ易いと思います。

貴方はどう思います？ 色々な方からどんどん多くの意見を出し合ひましょう。

RATS-霞が関のドブねずみ

板橋区 三鍋謙作

現在木枯らし紋次郎こと（と云ってももう知らない人のほうが多いのかも知れませんが）中村敦夫さんの作演出の平成オペレッタ「RATS-霞ヶ関のドブねずみ」という芝居にかり出されて、素人役者として稽古の最中です。

旧平成維新の会会員としては私の他、都民の会で「1日の会」の司会をされている山本竜司さん、東久留米の市議選で惜しくも5票差で落選の憂き目に会った池田治夫さんが出演しています。

芝居の内容は神頼みではダメだし、ドブねずみ（官僚）に任せておいてもダメだし、「民」が主導権をもって主体的に政治に取り組んで立て直していかなければならない、というモノです。神頼みと官僚独裁を中村さん流に痛烈に皮肉り、笑いとはばした芝居です。

私と池田さんは某宗教団体の「天父」「先生」の役です。山本さんはニュースキャスター役を演じています。正直なところ、素人役者が学芸会の延長のような演劇をして、人様からゼニをとっていいのかいな？という気がしないでもありませんが（私は、素人です。他のお二人は玄人はだしですよ、と云っておこう一応）、まあ脚本の面白さもありますので一見の価値はあります。

公演日程は下記の通りです。東京地区の方、お時間がございましたらぜひ覗いてみて下さい。

9月14日（土）	新宿笹岡区民センター
9月15日（日）	新宿笹岡区民センター
9月28日（土）	赤羽会館（北区）
10月9日（水）	目黒区民センター
10月14日（月）	大田区民プラザ
11月10日（日）	小金井公会堂
11月20日（水）	かめありリリオホール
12月2日（月）	中野区野方区民ホール

開演時間はいずれも7：00pmです。チケットの入手および入場料（会場使用料の分担金）などは中村企画（03-5376-9553）へお問い合わせ下さい。

（平成維新フォーラムより転載）